

挑戦する企業 144

時代の変化に応じて

株式会社イシダコーポレーション

代表取締役 いし だ りゅう いち
石 田 隆 一 氏

新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けている当社がキッチンカーを導入したのは2020年11月の事でした。待っていてもお客様は来ない。だったらお客様がいる所に出向いていこう。それがキッチンカーを導入した理由です。

しかし、キッチンカーを準備はしたもののどこで出店できるのかが分かりませんでした。そこで既にキッチンカーを稼働している知人に相談したところ、イベント開催の自粛が叫ばれる中でケータリング業界も飲食業界同様に苦戦している状況にありました。キッチンカーを所持している事業者は個別で動いていることが多く、まとまった活動はしていない事を知り、秋田青年会議所や秋田商工会議所青年部を経て、団体の力、組織の有効性を重視していた私は協会を立ち上げようとキッチンカー所有者に声をかけ、2021年1月に秋田県キッチンカー協会を発足しました。

密を避けるという言葉が感染症対策として推進され、キッチンカーは密を避けながら美味しい食事がとれるということで話題が多くなり、今年3月には協会の初事業として、大町川反で「キッチンカー in 川反夜祭り」というイベントを開催しました。これには予想以上の反響があり、閑散とされていた川反にその日だけは賑わいが戻ってきました。

その後、協会会員の数は急激に増え、当初5名だった会員は現在22名になりました。会員への情報提供をはじめ、主催事業を行う中、秋田市役所庁舎

前の市民の広場では6月から8月にかけて市有財産の活用実証実験に参加し、その市場性を確認しました。9月からは4区画のうち2区画に秋田県キッチンカー協会会員が交代で出店しております。

また、各種団体や企業、個人からもキッチンカー出店依頼の相談が寄せられ、会員へ出店情報の発信を行っております。この秋からは協会主催事業として秋田県内のスーパーマーケット6カ所を巡る「キッチンカーツアー」を企画し、現在進行中です。夏祭りやイベントが中止を余儀なくされ、にぎわいが消えた街に少しでも活気を取り戻そうと5台以上のキッチンカーで県内各地を巡ります。既に終えた湯沢や横手では「こういう事をやって頂けると嬉しい」「祭り気分を味わえるね」との声を聞き、子供たちがはしゃいで喜ぶ姿を見るととてもうれしく思います。

最近キッチンカーグルメという言葉をよく耳にするようになりました。週末のイベントだけではなく、日々の生活の中の一環として取り入れられる事を今後は目指して行きたいと思います。そしてコロナ禍が終息すれば各地域でイベントや祭りが開催されるでしょう。そこには必ずキッチンカーがあり、賑わいを創出していると思います。また、移動販売車としての機動力を生かし、災害発生時の支援活動も行っていく所存です。「食の提供」「賑わいの創出」「地域貢献」に寄与するこれからの秋田県キッチンカー協会の活動にご注目ください。



Profile ●

- 設 立 2013年8月8日
- 事業内容 飲食業
- 所 在 地 大町5丁目4-20
- T E L 862-1550
- U R L <http://ishida-corp.jp/>